

笹舟

2008.11.21

さらさらと 小川が 流れています。

今日も いいお天気だね。
きもちがいいね。
こんな日は、なにかいいこと ありそうだね。

さらさらと ささやきながら 流れています。

おやおや、どこからか、小さな笹舟が 流れてきましたよ。

ふうわ ふうわ。
あっちへ、こっちへ。

よろめきながら、流れてきました。

小川のせせらぎは、笹舟に 話しかけました。

おや、笹舟くん。
どこへ行くの？

「ちょっと、そこまで。」
こういうときは そう言うのよ、って、
おかあさんに 教わったんだ。

小川のゆらめきは、はらはらと 笑いました。
軽く波立って、笹舟は ひっくり返りそうになりました。

おととと。
ごめんね、笹舟くん。
ところで、ほんとは、どこまで 行くつもり？

う～ん。
ぼくね、海へ行くんだ！

ほおお。海へ？
それは それは 遠いところだよ？

うん。知ってるよ。
だけど、おかあさんと約束しているから、
夕方までには おうちに戻らないといけないの。

ああ、そうなんだね。
それじゃあ、気をつけて 行くんだよ。

はあい。
じゃあね。ばいば～い。

小さな笹舟は、ゆるゆると 流れていきました。

小川のきらめきは、両腕を振って、笹舟を 送り出しました。

遠い遠い昔を 思い出していました。